

## オープンキャンパスを終えて

2014年6月15日(日)、8月2日(土)、8月3日(日)のオープンキャンパスで当研究室の展示を行いました。研究室で使用しているプラズマを発生させる真空装置は、移動して展示することができませんので、今回は研究室オリジナルの液晶関連の創作物と市販のプラズマボールを展示しました。

液晶関連の展示として液晶ディスプレイの原理の説明から、液晶ディスプレイで核となる偏光板の理解、液晶セルに交流電圧をかけ稼働させ表示の変化を確認してもらいました。プラズマボールは放電のメカニズムと実際に触れてもらい、放電の仕方が異なることを確認してもらいました。

多くの見学者に説明する機会に恵まれ、実践を通して高校生に理解してもらえる説明を身につけることができました。充実した3日間を過ごすことができました。(S.K)



研究室展示の風景 (必殺のプラズマボールも投入しました)

液晶の創作物は少し配線が複雑になってしまいました。

加えて、当研究室では電子工作体験教室も行いました。①ピッカピカの LED 回路、② 3 連 LED 回路、③ピッカピカの LED 回路、④ホテルちゃん回路、⑤金属はどこだ？、⑥オルゴール回路の 6 つの回路から 1 つを選択し、製作してもらいました（中には①～⑥全て作製した方もいらっしゃいました）。電子工作の基礎となるハンダ付けを体験しながら電子回路の仕組みを理解してもらいました。

下は 5 歳（はんだ付けはつきっきりで指導）から幅広い世代の方々に参加していただきました。最初は指導方法も手探りでしたが、徐々に視線を下げて相手の反応をしっかりと見て、コミュニケーションをとることの重要性を理解しました。工作室は写真に示すように日中は常に満席で、3 日間を通して約 5 0 0 人の方々に参加していただきました。今年は女性の参加者が多く、電子工作が男女問わず注目されつつある雰囲気を感じました。

工作物完成時には、参加された皆さんに感動していただき、皆さんに火傷などのケガもなく私達も充実した 3 日間を過ごすことができました。今回の経験で、電子工作がより身近なものになってくれればと思います。

(K.K)



電子工作体験教室の風景と 300 人以上に指導した K.K の指導スタイルの推移

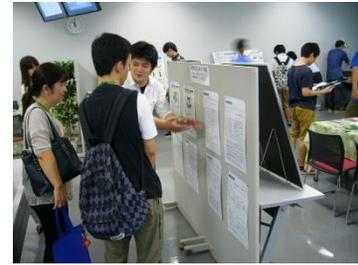
今年度のオープンキャンパスでは他にも3Dプリンタで作製した工作物の配布、電子工作の展示、電子光情報コースの学生の1週間の学生生活例の展示にも参加しました。



3Dプリンタ工作物の配布



目を引く電子工作物の展示



8人の電大生の1週間の説明



展示室と電子工作教室前の様子



他研のOさんが手伝ってくれました

展示、電子工作の説明以外にも、“どんな授業があるのか”、“高校授業の内容からどのように大学授業は発展するのか”、“研究室はいつ、どのように配属されるのか”、“なぜ東京電機大学の電気電子を選んだのか”、および“就職活動の仕方、状況、職種は？”と真剣に質問してくれる方々に参加していただき、私達も色々考えさせられました。ありがとうございました。(S.N)

2014年8月20日  
作成 S.K、K.K、S.N